

地域の新たな需要を創出する野菜，花き等の新規品目・品種(第1報)

農業・園芸総合研究所

1 取り上げた理由

生活における癒し，安らぎ，潤いや，食の安全・安心，健康・保健志向など，多様な消費者ニーズに対応するため，作ったものを売るといった従来の農業から脱却し，消費者の視点に立ち，売れるものを作り提供する農業へ転換するには，個性・独自性のある農業を展開する必要がある。その一つの方法として，こだわりの新規品目を経営に取り入れることが考えられる。農家直売所や農家レストランなど地域内流通に係わる生産者を対象とした新規品目・品種を検索，試作したので，試作時の播種期と収穫期(または開花期)，主な特徴，利用法を普及情報とする。

2 普及情報

1) 新規の野菜品目・品種

表1 個性的な新規の野菜品目・品種

品目・「品種」	播種期	収穫期	主な特徴	利用法
食用ホオズキ 「ゴールデンベリー」	3月上旬 (ハウス栽培)	8月上旬 ～10月中旬	・ナス科で，夏期冷涼な気象でも生育旺盛。 ・柑橘系の美味しい味。	・デザート，サラダ，ジャムなど。
サヤインゲン 「パープルインゲン」	8月下旬 (ハウス栽培)	10月中旬 ～11月上旬	・莢の色が紫色。 ・加熱すると緑へ変色。	・緑，紫，黄莢の品種を一緒に袋詰めし，三色サヤインゲンで販売するときれい。 ・煮物，和えものなど。
サヤインゲン 「黄莢インゲン」	8月下旬 (ハウス栽培)	10月中旬 ～11月上旬	・莢の色が黄色。	
レッドマスタード， グリーンマスタード	11月上旬 (加温ハウス栽培)	12月上旬 ～4月中旬	・アブラナ科の野菜。 ・ベビーリーフ用として繰り返し刈取り収穫。	・サラダなど。
ルッコラ (別名：ロケット， エルーカ)	10月中旬 (ハウス栽培)	11月下旬	・アブラナ科の野菜。 ・噛むとゴマの香りがあり，びりっとした辛みがある。	・サラダ，油炒め，和えものなど。 ・ビタミンCやカルシウムが豊富。
スイスチャード 「ブライトライト」， 「アイデアル」	6月下旬 (ハウス栽培)	8月上旬	・アカザ科の西洋フダンソウ。 ・葉脈の色が赤，橙，黄，緑，白などカラフル。 ・耐暑性・耐寒性があり，周年栽培が可能。	・調理時にアク抜きが必要。 ・お浸し，和えもの，油炒めなど。
サボイキャベツ 「オームスカーク・リアガード」	7月下旬 (ハウス栽培)	12月上旬 以降	・葉の縮緬が強い。 ・収穫後の貯蔵性が高い	・長時間加熱しても煮くずれにくいのでロールキャベツや煮込み料理など。
ブントレッタ (別名：アスパラガスチコリー)	6月上旬 (ハウス栽培)	9月上旬	・イタリアのキク科の野菜で，チコリーと同じ仲間。 ・味は淡泊でくせがないが，葉はやや苦い。	・主に中空の茎を食べる。 ・調理時にアク抜きが必要。 ・サラダ，油炒め，スープの具など。
ダイコン 「くれない総太り」	8月中旬 (ハウス栽培)	10月中旬	・根の内部も淡紫色に着色する。 ・夏まき専用種。	・色を生かしたダイコンおろし，酢漬け，サラダなど。
ダイコン 「紅おろし」	8月中旬 (ハウス栽培)	10月下旬	・根の表面部が鮮やかな赤色になる。	・そばの薬味や大根おろしなど。
ダイコン 「スペインラウンド」	8月中旬 (ハウス栽培)	10月上旬	・根の表面部が黒色で，小型の球形ダイコン。	・貯蔵性が高い。 ・漬け物など。 ・パリパリした歯ごたえ。

注．播種期及び収穫期は試作時の時期を参考として示した。

平成16年4月作成



写真1 食用ホオズキ



写真2 3色のサヤインゲン



写真3 レッドマスタードとグリーンマスタード



写真4 ルッコラ



写真5 スイスチャード



写真6 サボイキャベツ



写真7 プンタレツラ



写真8 ダイコン  
(左から「くれない総太り」,  
「スペインラウンド」,  
「紅おろし」)

## 2) 新規の花き品目・品種

表2 個性的な新規の花き品目・品種

品目・「品種」		播種期	開花期	主な特徴		利用法
ダイコンソク「Geum blazing sunset」		2002/3/29	5/5 ~ 6/16	秋播きの耐寒性多年草。葉はダイコンに似、花は真っ赤なバラの様。		切り花
S i n e	「S.flavescens」	2002/10/7	5/16 ~ 6/23	耐	50cmの細茎の頂上に緑の小さな花。	鉢物
	「S.colorata Pinkpirouette」		4/1 ~ 6/30	寒性	直径50cmまで広がる地這い性、ピンクの小さな輪状の花。直売所の看板代わりに。	グランドカバー・プラント・鉢物
	「Spendula ピーチフロッサム」		4/8 ~ 6/30	一年草	まとまりの良い草姿。八重咲き性。薄いピンクの小さな花。	鉢物
	「S. gallica」	2003/4/7	6/18 ~ 7/14	草	40cmの茎頂に赤花。	グランドカバー・プラント
	「S. delavayi」	7/21 ~ 10/20	葉は根出、茎頂20cmの頂上付近に小さな薄青の花を散房花序に着ける。		鉢物	
A g r o s t e m m a	「A.githago オーシャンパール」	2002/10/7	5/6 ~ 6/30	秋播きの耐寒性1年草	エレガントな白い花。	切り花
	「A.githago パープルクィーン」		5/4 ~ 6/30		エレガントな紫の花。	切り花
	「A.githago(w33)」		5/24 ~ 6/23		野生の小さな紫の花。	切り花
	「A.githago(タキイ)」		5/11 ~ 6/23		エレガントな薄紫の花。	切り花
アカエナ「Acaena myriophylla」		2002/4/2	5/20 ~ 6/2	耐寒性多年草。冬でも青々として美しい。		冬のグランドカバーに
ルピナス「Lupinus arboreus」		2002/10/7	5/14 ~ 6/30	耐寒性多年草のマメ科植物。英名はbush lupin, tree lupin。庭の生け垣に好適。		鉢物

平成16年4月作成

キハナリソウ「Cerinthe major」		4/21 ~ 6/23	半耐寒性1年草。英名はHoneywort（蜜蜂が寄る）。	鉢物
アマランサス「Amaranthus caudatus」	2003/4/7	6/6 ~ 9/29	半耐寒性1年草。夥しい種子を産出。落下種子の発芽率も高く、繁殖力は極めて旺盛。高さ1.2m。	庭植植物 グランドカバー・プラント
ニワセキショウ「Eryngium agavifolium」		12/1	耐寒性多年草。12月に極わずかだけ開花、秋播が順当と考えられる。	鉢物 庭植え
シソ科のハーブ「Nepeta nervosa」		6/22 ~ 9/22	耐寒性多年草。根出葉で、花は30cmの茎頂付近に房状の総状花。	鉢物
ナス科「Nicandra physaloides」		6/2 ~ 9/22	耐寒性1年草。庭植すると高さ1.5m、広がり1m。鉢物は小さくまとまり、ホオズキの様な実も鑑賞でき、次々と咲く花と併せて鑑賞期間は長い。	鉢物 庭植え
ゴマノハグサ科「Rhodochiton atrosanguineus」		7/10 ~ 9/16	半耐寒性1年草。葉は心臓型。花は長い花柄から釣鐘型で垂れ下る。薄紫の萼の中心から濃赤色の筒状の合弁花突出。つる性	鉢物（ハンギングバスケット）



写真1 Geum blazing sunset



写真2 Silene colorata pinkpiouette



写真3 Silene delavayi



写真4 Agrostemma githago (variety 1)



写真5 Agrostemma githago オシャンパール



写真6 Agrostemma githago パープルクィーン

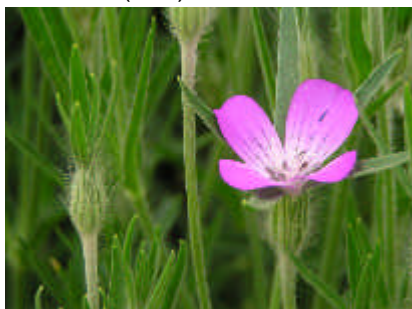


写真7 Agrostemma githago (Wisley33)



写真8 Acaena myriophylla



写真9 Lupinus arboreus



写真10 *Cerintho major*



写真11 *Amaranthus caudatus*



写真12 *Eryngium agavifolium*



写真13 *Nepeta nervosa*



写真14 *Nicandra physaloides*



写真15 *Rhodochiton atrosanguineus*

### 3 利活用の留意点

- 1) 野菜はハウス栽培で試作した場合の播種期，収穫期を示したが，露地栽培をする場合は適宜播種期を調整する。
- 2) 農業・園芸総合研究所のホームページ([http://www.pref.miyagi.jp/res\\_center/](http://www.pref.miyagi.jp/res_center/))でもカラー版で紹介してるので，参照してください。
- 3) 栽培法，種子の入手先等については下記までお問い合わせください。

(問い合わせ先：農業・園芸総合研究所バイオテクノロジー開発部  
資源開発利用チーム 電話022-383-8126または022-383-8131)

### 4 背景となった主要な試験研究

- 1) 研究課題名及び研究期間 新需要創出のための新規品目の検索(平成14年度)  
園芸作物のオリジナル品種育成(平成15年度～)
- 2) 参考データ なし。
- 3) 発表論文等 なし。